

『非アルコール性脂肪肝炎（NASH：ナッシュ）の 拾い上げは、腹部エコーと血小板で！』



肝臓川柳

『脂肪肝 メタボの人に エコーがえ〜(こ)』役に立つ

(エコーが良い・・・エコーがええ・・・エコーがえ〜こ)

.....ノノノノノ

飽食、運動不足の現代、肝臓では肝に脂肪が貯まる脂肪肝の人が急増しています。

人間ドックで **3人に1人が肝障害**があり、そのほとんどは脂肪肝が原因です。

なかでも → アルコールを飲まなくてもなる脂肪肝（非アルコール性脂肪性肝疾患（NAFLD（ナフルド））が、

⇒ **1000~2000万人**、

その中で → 肝炎、肝硬変へ移行する脂肪肝炎（非アルコール性脂肪肝炎（NASH（ナッシュ））が、

⇒ **100~200万人** 日本にいると推定されています。

症状も全くないうちに肝炎→肝硬変→肝癌へと移行しますので早期発見、フォローが必要です。

メタボリックシンドローム（メタボ）因子のある人、すなわち、糖尿病、高血圧、虚血性心疾患、脂質異常症などの人は、まず腹部エコーをして下さい。

【注意！】

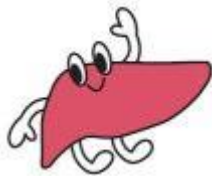
欧米ではガイドラインに**腹部エコー**施行が指定されており、

日本でも今後検査をしなかった場合は訴えられる可能性があります。

もう一つ**血小板数**が大事です。20万を切るとナッシュ（NASH）の可能性が高くなります。

腹部エコーで脂肪肝があり、血小板数が20万未満の方はナッシュ（NASH）の診断を進める必要があります。

肝生検前に診断する簡単な血液検査などがありますので次回紹介します（fib-4 index、NAFIC score、fibroscan）。



これだけ覚えておけば損はない！

今 回 の ポ イ ン ト

脂肪肝の人が急増しています。

メタボ因子のある人はまず腹部エコーをしてください。さらに血小板数が大事です。

腹部エコーで脂肪肝があり、血小板数が 20 万未満の方は、ナッシュ（NASH）の診断を進める必要があります。

（文：福井県肝疾患診療連携拠点病院運営委員会 野ツ俣 和夫）